

# ★ おおだて 市議会だより

108号

平成25年5月1日

平成25年3月定例会(会期:2月26日~3月18日)

- 主な議案等の審査結果(3月定例会) ..... P. 2
- 一般質問 ..... P. 4
- 委員会から ..... P. 8
- 議会改革協議会 ..... P. 9
- 私もひ・と・こ・と ..... P. 10

6年生のお姉さんと  
4月5日雪沢小学校入学式

# 主な議案等の審査結果

## 3月定例会（会期：2月26日～3月18日）

内訳：専決処分の報告1件・承認1件、条例案20件、単行案5件、予算案42件、予算案の訂正の承認1件、人事案1件、請願2件、陳情1件、意見書案4件、継続審査中の請願2件・陳情13件、議会提案の議案3件  
計96件

主　な　案　件　・　内　容	結　果																												
<p>○ 大館市部設置条例の一部改正</p> <p>平成25年4月1日より、市役所の行政組織機構を見直し、関係する部等の分掌事務を改めます。</p> <p>【現 行】 総務部・市民部・産業部・建設部</p> <p>【改正後】 総務部・市民部・<u>福祉部</u>・産業部・建設部</p> <p>【分掌事務】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・税に関すること（総務部→市民部）</li> <li>・社会福祉及び社会保障に関すること（市民部→福祉部）</li> <li>・保健衛生に関すること（市民部→福祉部）</li> <li>・介護保険に関すること（市民部→福祉部）</li> <li>・その他健康福祉に関すること（福祉部）</li> </ul>	原案可決																												
<p>○ 大館市墓地公園に関する条例の一部改正</p> <p>平成24年度に造成した小柄沢墓園の規制墓地を供用開始するに当たり、造成等に要した費用を勘案し、平成25年4月1日から墓地の永代使用料の上限を改定します。</p> <p>【現 行】 75,000円／㎡ → 【改正後】 85,000円／㎡</p>	原案可決																												
<p>○ 平成25年度大館市一般会計予算案</p> <table> <tbody> <tr> <td>・ 3R（リデュース、リユース、リサイクル）推進プラザ整備事業費</td> <td>1億5,241万5,000円</td> </tr> <tr> <td>・ 上川沿地区ほ場整備事業</td> <td>1,949万3,000円</td> </tr> <tr> <td>・ えだまめ大規模モデル産地育成事業費補助金</td> <td>5,000万円</td> </tr> <tr> <td>・ 釧内工業団地整備事業費</td> <td>3億1,887万7,000円</td> </tr> <tr> <td>・ 緊急雇用創出等臨時対策基金事業（24事業 新規雇用者94人）</td> <td>1億6,829万5,000円</td> </tr> <tr> <td>・ 秋田デスティネーションキャンペーン関連事業費</td> <td>886万7,000円</td> </tr> <tr> <td>・ 公共施設再生可能エネルギー等導入事業費</td> <td>2億2,745万7,000円</td> </tr> <tr> <td>・ 田代地区統合簡易水道事業費</td> <td>2億 293万3,000円</td> </tr> <tr> <td>・ 予防接種費（小児用肺炎球菌ワクチン、4種混合ワクチンなど）</td> <td>1億4,481万円</td> </tr> <tr> <td>・ 大館市看護師奨学基金費</td> <td>2,000万円</td> </tr> <tr> <td>・ 第二中学校グラウンド改修事業費</td> <td>7,738万5,000円</td> </tr> <tr> <td>・ 国民文化祭事業費</td> <td>3,028万3,000円</td> </tr> <tr> <td>・ 住宅リフォーム緊急支援事業費</td> <td>6,000万円</td> </tr> <tr> <td>・ 消防救急デジタル無線整備事業費</td> <td>9億5,526万3,000円 ほか</td> </tr> </tbody> </table>	・ 3R（リデュース、リユース、リサイクル）推進プラザ整備事業費	1億5,241万5,000円	・ 上川沿地区ほ場整備事業	1,949万3,000円	・ えだまめ大規模モデル産地育成事業費補助金	5,000万円	・ 釧内工業団地整備事業費	3億1,887万7,000円	・ 緊急雇用創出等臨時対策基金事業（24事業 新規雇用者94人）	1億6,829万5,000円	・ 秋田デスティネーションキャンペーン関連事業費	886万7,000円	・ 公共施設再生可能エネルギー等導入事業費	2億2,745万7,000円	・ 田代地区統合簡易水道事業費	2億 293万3,000円	・ 予防接種費（小児用肺炎球菌ワクチン、4種混合ワクチンなど）	1億4,481万円	・ 大館市看護師奨学基金費	2,000万円	・ 第二中学校グラウンド改修事業費	7,738万5,000円	・ 国民文化祭事業費	3,028万3,000円	・ 住宅リフォーム緊急支援事業費	6,000万円	・ 消防救急デジタル無線整備事業費	9億5,526万3,000円 ほか	原案可決
・ 3R（リデュース、リユース、リサイクル）推進プラザ整備事業費	1億5,241万5,000円																												
・ 上川沿地区ほ場整備事業	1,949万3,000円																												
・ えだまめ大規模モデル産地育成事業費補助金	5,000万円																												
・ 釧内工業団地整備事業費	3億1,887万7,000円																												
・ 緊急雇用創出等臨時対策基金事業（24事業 新規雇用者94人）	1億6,829万5,000円																												
・ 秋田デスティネーションキャンペーン関連事業費	886万7,000円																												
・ 公共施設再生可能エネルギー等導入事業費	2億2,745万7,000円																												
・ 田代地区統合簡易水道事業費	2億 293万3,000円																												
・ 予防接種費（小児用肺炎球菌ワクチン、4種混合ワクチンなど）	1億4,481万円																												
・ 大館市看護師奨学基金費	2,000万円																												
・ 第二中学校グラウンド改修事業費	7,738万5,000円																												
・ 国民文化祭事業費	3,028万3,000円																												
・ 住宅リフォーム緊急支援事業費	6,000万円																												
・ 消防救急デジタル無線整備事業費	9億5,526万3,000円 ほか																												



主な案件・内容	結果
○人権擁護委員の候補者の推薦について 平泉 濱子氏(有浦6丁目)	異議なし

## 請願・陳情

◎3月定例会に提出されたもの ○継続審査となっていたもの

請 願	○妊婦健診とヒブ、小児用肺炎球菌、子宮頸がん予防の3ワクチンへの公費助成について ○不妊治療の市独自助成について	採 択
	○原発事故関連放射性物質の受け入れ反対について ○放射性セシウムを含む焼却灰の受け入れ再開への反対について	継続審査
陳 情	○少人数学級の推進、義務教育費国庫負担率2分の1復元について ○オスプレイの配備と秋田県上空での飛行撤回について ○ゆきとどいた教育の前進について	採 択
	○原子力発電所の廃止、再生可能エネルギーによる発電の推進について	趣旨採択
	○最低賃金の大幅引き上げと中小零細企業支援の拡充について ○生活保護基準の引き下げをしないこと(2団体より提出) ○最低保障年金制度を消費税によらないで創設すること ○最低賃金の大幅引き上げと中小零細企業支援の拡充について	不採択
	○社会保障と税の一體改革による消費税増税の反対について ○社会保障と税の一體改革の中止について ○住民の安全・安心を支える公務・公共サービスの体制・機能の充実について ○消費税増税の中止について ○教育費無償化の前進について	継続審査

## — 意見書の提出 —

1. 妊婦健診とヒブ、小児用肺炎球菌、子宮頸がん予防の3ワクチンへの平成24年度と同水準の公費助成を国に求める意見書 《提出先》内閣総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣
2. 少人数学級の推進、義務教育費国庫負担率2分の1復元を求める意見書 《提出先》内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、文部科学大臣、内閣官房長官
3. オスプレイの配備と訓練飛行の撤回を求める意見書 《提出先》内閣総理大臣
4. 「ゆきとどいた教育」の前進を求める意見書 《提出先》内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、文部科学大臣



# 一般質問 = [4] =

平成25年5月1日(No.108)

田中 耕太郎議員(いのち)



【問】 これまでの誘致企業・緊急雇用対策が雇用の確保・所得向上に結びついているのか。

【市長】 忠犬ハチ公がきっかけとなり、渋谷区・三重県津市との交流が図られ「忠犬ハチ公のふるさと大館」が全国に広がりつつある。地域ブランドとして、きりたんぽ・比内地鶏などをふるさと大館」として、毎年イベントで好評を得ている。全国の方がそれらを耳にしたとき、すぐに大館をイメージできるよう、PRの際には必ず「大館」の名前を加える。本市の名称について誤読されるとの指摘について、印刷物・インターネット等の情報発信時に「おおだて」とぶりがなをつけ、正確な情報発信をしたい。

【問】 がん検診受診率向上の取り組みについて

【市長】 保険者の枠にとらわれない、がん検診の受診体制構築についての見解は。

【問】 本府舎建設の時期はいつか。合併特例法期限内に建設すべき。

【市長】 本府舎建設検討委員会で候補地や機能・規模など年度内に答申の予定。合併特例債の適用期限である32年度までの完成目標とすべきと報告を受けている。毎年、一定程度を積み立てながら自主財源確保に努めたい。

行政が取り組むべきブランディングは。

朝検診を実施している。今後もさまざまな啓発活動を展開し、受診率向上を目指したい。

いずれにしても市の大方針を待望んでいる。

## 花岡線跡地の活用について

平成25年度予算案に関連して

【問】 行政が取り組むべきブランディングは。

【市長】 血液や尿、呼気を検査する方法がある。ピロリ菌の除菌治療を行えば、大部分の潰瘍の抑制ができるだけではなく、胃がんの発症リスクを抑制できるとされ、市立総合病院で胃潰瘍などの検査・治療の一環としてピロリ菌の検査・除菌を実施している。多くの皆様に受診していただけるよう努めたいたい。

【問】 ヘリコバクター・ピロリ菌検診・除去に市費負担を。市長 血液や尿、呼気を検査する方法がある。ピロリ菌の除菌治療を行えば、大部分の潰瘍の抑制ができるだけではなく、胃がんの発症リスクを抑制できるとされ、市立総合病院で胃潰瘍などの検査・治療の一環としてピロリ菌の検査・除菌を実施している。多くの皆様に受診していただけるよう努めたいたい。

【問】 市民一体となつた観光展開が必要であり観光課を新設した。移転は体育施設やレベルバイケイベントなどとの連携を図りたいからである。

【市長】 施設の所管がえは検討する。外部人材の登用は、今段階では考えておらず、観光大使などをアドバイザーとして活用したい。

【問】 大館市の観光には拠点施設が不可欠。設置の考えは。

【市長】 大館の顔となる拠点施設がないのはご指摘のとおり。大館駅周辺の活用、拠点として施設を進めたい。ドームパークセンターも観光・物産の拠点となり得ると考える。関係団体の意見を聞きながら重点的に整備をしたい。

【問】 花岡線跡地の活用はどうなったのか。放置部分をどう考えているか。サイクリングロードとしての活用や御成町一丁目の盛土を崩して利便性を高めることも期待できるのではないか。

【市長】 一部を生活道路、道路拡幅などに活用しているが、板子石地内は歩行者・自転車専用道路として整備検討中である。

【問】 花岡線跡地の活用はどうなったのか。放置部分をどう考えているか。サイクリングロードとしての活用や御成町一丁目の盛土を崩して利便性を高めることも期待できるのではないか。

【問】 花岡線跡地の活用はどうなったのか。放置部分をどう考えているか。サイクリングロードとしての活用や御成町一丁目の盛土を崩して利便性を高めることも期待できるのではないか。



小棚木 政之議員(半成会)

【問】 がん検診受診率向上の取り組みについて

【市長】 保険者の枠にとらわれない、がん検診の受診体制構築についての見解は。

【問】 本府舎建設の時期はいつか。合併特例法期限内に建設すべき。

【市長】 本府舎建設検討委員会で候補地や機能・規模など年度内に答申の予定。合併特例債の適用期限である32年度までの完成目標とすべきと報告を受けている。毎年、一定程度を積み立てながら自主財源確保に努めたい。

【問】 観光政策について

【市長】 観光課の独立移転後の観光施策の展開をどう考えているのか。国民文化祭後が重要。観光が輝いていないとすれば市长の姿勢に問題があると考える。観光を交流と置きかえてもいい。

【問】 花岡線跡地の活用はどうなったのか。放置部分をどう考えているか。サイクリングロードとしての活用や御成町一丁目の盛土を崩して利便性を高めることも期待できるのではないか。

【問】 花岡線跡地の活用はどうなったのか。放置部分をどう考えているか。サイクリングロードとしての活用や御成町一丁目の盛土を崩して利便性を高めることも期待できるのではないか。

【問】 花岡線跡地の活用はどうなったのか。放置部分をどう考えているか。サイクリングロードとしての活用や御成町一丁目の盛土を崩して利便性を高めることも期待できるのではないか。

# 一般質問

平成25年5月1日(No.108)

— [5] —



佐藤 芳忠議員(無所属)  
さとしやまとよしだいぎいん(むしょりゆう)

## 病児病後児保育室整備による子育てと就労の支援について

〔問〕 子育て就労中の親が一番困つておる、一番望んでいる『病児病後児保育』は、早急な整備充実が必要です。北秋田市では26人の保育体制が整つていますが、当市は病児保育がなく、『病後児保育所』の定員がたつた2人という状況にあります。退職看護師や保育士を非常勤委嘱し、病後児保育所で対応できない場合は、『緊急時・病児病後児保育室』を開設できる体制を整えたらいかがでしょうか。

〔市長〕 病後児保育は、保育園内への設置・増設について早く検討します。病児保育については、実施する場合の施設や看護師の配置基準等を調査した上で検討したいと考えています。

〔問〕 有浦保育園のボイラーリの焼却灰からは12月に70ベクセル、1月に84ベクセル。駅廻内児童センターのストーブからは、2月に42ベクセル。東館小学校のボイラーカラは、2月に63ベクセルと、私が懸念したとおり、検査した全てのペレット焼却灰からセシウムが検出されました。

〔市長〕 子供達の安全は国の基準以下だからとか許容範囲の中だからとかで判断せず、危険か安全かという観点から判断すべきです。ペレットストーブやボイラーを導入するということは、セシウムが無い環境で過ごしてきた子供達を、セシウムが有る環境で過ごさせるということです。子供達は今まで通り放射性物質がない安全な環境で過ごせるべきです。そのためには放射性物質を出すペレット暖房をやめ、灯油暖房にすべきと考えます。

〔問〕 佐藤 健一議員(いぶき)

〔市長〕 ペレットストーブ等から1年間に排出される焼却灰の総量は約6.72トンであり、その中に含まれる放射性セシウムの量は54万ベクセル。30年間の蓄積量では、焼却灰の総量は約201トンで放射性セシウムの総量は880万ベクセルと推定されます。

〔問〕 佐藤 健一議員(いぶき)

〔市長〕 政権交代とTPP問題で農家の不安感が増大している。市長のTPPに対する考え方と今後の大館市の農業のあり方を伺いたい。

〔問〕 佐藤 健一議員(いぶき)

〔市長〕 61%に決定した。市町村への配分率の格差は23年度から25年度の3年間で最大格差11.2ポイントを2分の1にすることとされ、25年産米の配分での措置により最大格差は5.6ポイント。本市と最大配分市町村との差も4.4ポイントに改善されましたが、依然大きな格差があるの特に農業分野では、関税が撤廃された場合、安い農畜産物の大量流入により、米や牛肉・豚肉など広範囲にわたって影響を受けることが予想され、規模拡大や担い手育成などに重点を置いた予算措置がされなければ、中核農家が壊滅的な打撃を受けることが危惧される。今後の本市の農業は、TPPの行方に大きく左右されるが、仮に交渉参加が正式に表明された場合には、関係団体と連携し、農業を初めとする我が国の産業をしっかりと守るという明確なメッセージと、そのための具体的な施策を示すよう國に強く要望して行く。

〔問〕 橋梁の補修について

〔市長〕 橋梁の長寿命化修繕計画を具体的に示してほしい。

〔問〕 橋梁の長寿命化修繕計画に基づき早期に補修が必要な48橋を選定し、本年度は高館橋と岩瀬橋について現況調査を実施した。高館橋は詳細設計を完了しており、岩瀬橋についても繰越事業で詳細設計を実施する予定である。

## 子供たちの安全のために②

子供達に触れさせることのないよう安全管理を徹底します。

いては、日米首脳会談後の共同声明で「日本の農産品のように慎重を要する分野が存在することとも認識する」としたことを受け、安倍首相は「聖域なき関税撤廃がないとの認識に立った」と述べ、早期の交渉参加に強い意欲を示している。しかし、共同声明は「最終的な結果は交渉の中で決まっていく」としており、関税撤廃の例外品目を確保することができる保障はない。

声明で「日本の農産品のように慎重を要する分野が存在することとも認識する」としたことを受け、安倍首相は「聖域なき関税撤廃がないとの認識に立った」と述べ、早期の交渉参加に強い意欲を示している。しかし、共同声明は「最終的な結果は交渉の中で決まっていく」としており、関税撤廃の例外品目を確保することができる保障はない。

示され、大館市農業再生協議会では全農家に対する配分率を昨年より1.1ポイント多い59.61%に決定した。市町村への配分率の格差は23年度から25年度の3年間で最大格差11.2ポイントを2分の1にすることとされ、25年産米の配分での措置により最大格差は5.6ポイント。本市と最大配分市町村との差も4.4ポイントに改善されましたが、依然大きな格差があるの特に農業分野では、関税が撤廃された場合、安い農畜産物の大量流入により、米や牛肉・豚肉など広範囲にわたって影響を受けることが予想され、規模拡大や担い手育成などに重点を置いた予算措置がされなければ、中核農家が壊滅的な打撃を受けることが危惧される。今後の本市の農業は、TPPの行方に大きく左右されるが、仮に交渉参加が正式に表明された場合には、関係団体と連携し、農業を初めとする我が国の産業をしっかりと守るという明確なメッセージと、そのための具体的な施策を示すよう國に強く要望して行く。

〔市長〕 TPP交渉参加については必要ないと考えています。

〔問〕 大館市の農業について

〔市長〕 燃却灰からは放射性セシウムが検出されました。子供達の健康に影響を及ぼす程度のものではなく、灯油暖房への切替は必要ないと考えています。

# 一般質問 = [6] =

いしだ 石田 雅男議員(平成会)



平成25年5月1日(No.108)

いる。

## 大館市の環境政策について

### 環境政策について

#### (1) 環境政策の専門部署を

【問】 大館市の環境政策は、環境基本計画から始まり、市民との協働によるごみの分別、リサイクルの促進、ダイオキシン対策での焼却場の更新など多数の関連する事業が行われてきた。しかし、それらの計画や実施においては、各課にまたがり政策面で総合性に欠けているのではないかと思われる。今後の循環型社会、低炭素社会のさらなる構築を目指すためにも、環境政策の総合的な専門部署を設けるべき。

【市長】 自治体の環境政策は行政のあらゆる分野に関連しており、政策と事業の実施に当たっては、各部署を統括、調整するプロジェクトマネジャーを配置するなどの方法も検討していると考えたいと考へておる。

#### (2) 環境モデル都市を目標とする考へ

【問】 今後の環境問題に対応する都市構造、産業構造、市民生活の全てを包括する社会づくりに、その目標となる環境モデルが提案された堀の復活などを含めた城址公園という形での整備についても検討すべきと考えておる。

【市長】 仮に、建設場所が現在の庁舎敷地とその周辺となつた場合には、庁舎建設と市の中的な公園である桂城公園の整備を一体的に考えながら、議員が提案された堀の復活などを含めた城址公園という形での整備についても検討すべきと考えておる。

## 農業問題について

### 農業問題について

#### 小規模災害の助成を積極的にすべきである。

【問】 小規模災害の助成を積極的にすべきである。

【市長】 市内全体で甚大な被害が発生した場合には、県の支援の発動にかかわらず市独自の復旧支援を実施したい。

【問】 水田複合経営の推進について。水田複合経営の推進について。水田複合経営の推進について。

【市長】 農業夢プラン基盤整備をさらに進める。市内全16地区で人・農地プランを作成し、規模拡大や法人化の支援を行う。



## 平成25年度予算と財政問題について

【問】 平成25年度予算と財政問題について

【市長】 人口減少に見合った予算規模とし、また借入金残高を順位の精査を徹底し、国・県の補助や有利な起債を活用し、財源確保に十分配慮する。繰上償還を検討し、市債残高が毎年度減少していくよう配慮する。

【問】 事業の必要性や優先順位の精査を徹底し、国・県の石破術」「乳がんのリンパ浮腫マッサージ」の要望があるが、市民から「腎・尿管結石破裂術」「乳腺マッサージ」の不満から現在対応できていない。

【管理職】 医療スタッフの不足に応えるよう努力していく。

## 障害者の雇用の促進について

### 障害者の雇用の促進について

#### 障害者の雇用率が引き上げられるが、その対応について。

【問】 平成25年4月1日から障害者の雇用率が引き上げられるが、その対応について。

【市長】 ハローワークや障害者就業・生活支援センターで障害者の情報収集を行い、働ける職場と職種を検討した結果、25年度からの新たな雇用率2・3%を達成できる見込みである。

【市長】 現行の支援体制で力

【問】 少子高齢化が深刻な問題となっている昨今、全国一律に実施されている助成に大館市も上乗せする独自助成をすべきである。

【市長】 不妊治療の市単独助成について

【問】 平成25年4月1日から障害者の雇用率が引き上げられるが、その対応について。

【市長】 ハローワークや障害者就業・生活支援センターで障

害者の情報収集を行い、働く職場と職種を検討した結果、25

年度からの新たな雇用率2・3%を達成できる見込みである。

# 一般質問

平成25年5月1日(No.108)

富樫 孝議員(新生クラブ)



秋田犬の支援は

もつと手厚く

観光の目玉なのに飼い主に任せすぎだ。補助金を考えてもよいのではないか。

[市長]

秋田犬保存会に毎年補助金を交付している。そのことが会員の支援にもつながる。

市立総合病院の災害時の救急体制について

備蓄燃料が切れた後の手だけは考えているか。

[管理者]

秋田県石油商業協同組合と協定しているので、優先的に供給される。

[問]

薬品を配送する車の手配は。

[管理者]

薬品卸業者が共同でチャーターして搬送する。

[問]

J Aなどから食料調達が無理な場合の手だけは。

[問]

医師会との交渉について。

[問]

看護師の派遣要請をする。地元医師会との連携によつても継続した医療活動ができる。

[問]

応援医療チームの宿泊や食事の準備はされているか。

[管理者]

院内宿直室や会議室を提供する。食事については柔軟に対応する。

[問]

大量の水が必要と思うが確保できるか。

[管理者]

屋外貯水タンクと高架水槽2基があり3日分は使用可能である。



大館市立総合病院



大館市立総合病院売店（コンビニエンスストア）

【問】※D M A T が 1 チームでは不足ではないか。  
【管理】認定医師・看護師等の人材確保と県医師会との調整が必要なので今後協議したい。

※ D M A T とは、「災害派遣医療チーム」の略称です。

## 行政視察の受け入れ状況

(平成 24 年度)

○4月18日

千葉県市川市 3名

生涯学習について（出前講座、おおだて人財名簿）  
○7月4日  
神奈川県座間市 3名  
・市民参加型のまちづくり、中心市街地の再生について

○7月5日

兵庫県赤穂市 3名  
・リアメタル回収事業について

○8月3日

静岡県長泉町 5名

・まちづくりについて（全市民参加型のまちづくり、中心市街地の再生について）  
○8月7日  
埼玉県上尾市 6名  
・食育推進計画について

○8月17日

埼玉県川口市 10名  
・廃校を活用した企業誘致と地域振興について

○7月18日

・観光振興（指定管理者）の取り組みについて  
・下水道事業について  
・地域活性化について

○10月10日

栃木県佐野市 7名  
・まちづくり（空き店舗の利活用）・新規商業施設77選に選定された事業について

○7月25日

千葉県四街道市 11名  
・ごみ処理施設のP F I導入の経緯・経過について、メリット・デメリットの検証と今後の課題について

○11月21日

青森県弘前市 13名  
・バイオマスстаун構造について

・ごみ処理施設のP F I導入の経緯・経過について、メリット・デメリットの検証と今後の課題について

# 委員会から

平成25年5月1日(No.108)

会期中の3月6日、7日、8日、11日、13日、14日の6日間にわたって各常任委員会で付託された議案等について審査を行いました。

各委員会からの主な報告は次のとおりです。

\*-\*-\*-\*  
会期中の3月6日、7日、8日、11日、13日、14日の6日間にわたって各常任委員会で付託された議案等について審査を行いました。

各委員会からの主な報告は次のとおりです。

## 総務財政常任委員会

### ◇市庁舎建設について

今回の補正予算案で、庁舎建設のための積立金が3億円追加されましたが、余りに額が大きく唐突な感じがする。しつかりとした目標を見据えて計画的に積み立てるべきではないかとの質疑に対し、市長は、今回の3億円という額は決して大きすぎる額ではない。仮に合併特例債を使うとしても、一定額を基金として積み立てておかないと、公債費比率が高くなり、後年度の負担をふやすことになる。毎年できる限り積み立てていきたいと答弁した。

また、仮に合併特例債を使って建設するすれば、平成32年度中に完成しなければならない時間的余裕は余りないのでないか。今後のスケジュールはどうなっているのかとの質疑に対し、市長は、平成25年度は議会との協議に入る。一定の議論が

終わった段階で、平成26、27年度には基本計画を提出する。そ

れと並行して建設地の各種調査を行う。遅くとも平成28年度には基本設計を、その後、実施設計を作成し、庁舎建設には1、2年はかかる。また、現庁舎の解体工事等も含めて平成32年度までに終わらせなければならず、相当過密なスケジュールになると考えられると答弁した。

## 厚生常任委員会

### ◇がん検診について

がん検診の受診率アップを図るために、何か工夫が必要ではないか。八峰町では、受診料負担を500円のワンコインとし、さらに検診会場での託児・介護サービスの検討に入ったとのことで、通知しても受診しない方に對し電話作戦を行うなどの工夫をすべきではないかとの問い合わせた。市長は、今までにはがきや無料クーポン券を発行するなどで一

## 教育産業常任委員会

### ◇大館市の観光拠点について

4月から新設される観光課が移転する樹海ドームパークセンターに関連して、樹海ドーム本体並びに樹海ドームで開催されるイベント、近隣の郷土博物館・樹海体育館、さらには、レールバイクや物産館的機能を盛り込んで一大観光拠点として整備する必要があるのではないかとの質疑や意見があり、市長は、樹海ドームは、きりたんぽまつりや産業祭の会場であるとともに、スポーツイベントも盛んであることから、現在のイベントとスポーツツーリズムなどを考慮した特色のある整備を進めたい。また、交通の結節点であるJR大館駅前についても、周辺の駐車場等の整備を考慮しながら、これらを大館の二大觀

定の効果はあったと思うが、まだ実績が足りないのは御指摘のとおりである。そのため、25年度に重点モデル地区を設定し、チラシの配布や受診勧奨を徹底的に行い、また、総合病院が地域がん診療連携拠点病院であることもPRしながら、受診率アップに向けての検証を行つていただきたいと述べた。

光拠点としてニーズに合わせた整備をしていきたいとの考えを示した。

## ◇受贈絵画の保管について

市が寄贈をいただき、所蔵する絵画がふえたことから、保管方法について質疑がなされた。

市長は、寄贈者への謝意を表わすとともに、手狭となつた郷土博物館の収蔵庫に費用をかけるよりは、常設展示により市民に鑑賞いただく方が有意義である。

すとともに、手狭となつた郷土博物館の収蔵庫に費用をかけるゼロダテや有識者等によるプロジェクトチームを結成し、早速検討に入りたいとの考え方を示した。



教育産業常任委員会 現地調査（比内地鶏鶴糞処理施設）

## 建設水道常任委員会

### ◇秋北バスターミナル廃止検討に伴う今後の公共交通について

秋北バスターミナルの廃止・新ルートでの運行が検討されているようだが、市役所本庁舎の建てかえも検討されており、今後の大館市の公共交通についてどのように考えているか問われた市長は、大館駅前と全ての路線バスが通る市立総合病院が大きな拠点になるとを考えていると述べ、大館駅前については、大館駅と駅前ステーションが離れており、乗降客の利便を考えれば1つになった方が良く、駅前広場の整備を考えなければならない。市の本庁舎については、サブ拠点にはなるだろうがあくまでサブと述べた。

## ◇市役所本庁舎の建て替えについて

本庁舎の建てかえでは、仮設庁舎を建設しなくてもいいように、また、庁舎はシンプルで頑丈なものをとの委員の問い合わせに対し市長は、仮に現地建てかえとなつた場合は仮庁舎を建設しなくてもよい方法をとりたいと述べた。また、シンプルで頑丈なものという意見には賛成であるが、外観に関しては木都大館として秋田杉を使つた頑丈なものにしたいと述べた。

## 議会改革協議会の取り組み

### 決定・実施事項

(一部実施を含む)

#### 報酬・政務調査費について

(1) 各議員の政務調査費の使い道を「おおだて市議会だより」で公開しました。ま

た、インターネットを活用し、この大館市議会だよりを大館市ホームページにも掲載しています。

(2) 政務調査費の支出について、一層の適正化を図るため、資料購入費や調査活動費の支出基準見直しを行い、さらに備品事務機器の購入やリース料への支出は認めないことにしました。

#### 請願・陳情者の意見聴取・意見交換について

※毎月支給される議員報酬の金額等については、市の諮問機関である特別職報酬等審議会で審議をされるものであるため、議会改革協議会では議論の対象外としました。

#### 議員の議場内のパソコン使用について

- ・ プロジェクター映写などで資料を提示する場合に限り使用を認めるにとしました。

#### 一般質問における

##### 一問一答方式の導入について

(※一議題ごとに質問・答弁を行うこと。)

- ・ 再質問から一問一答方式で質問ができるようにしました。

#### 『議会基本条例検討時に協議するもの』

- 市長・執行部の反問権について
- 委員会における議員相互間の自由討議について
- 一元代表制に基づく議会の主体性確立

大館市議会では議会の活性化を進め、議会に課せられた課題について協議し、開かれた議会を目指すため、「議会改革協議会」を組織して協議を重ねてまいりました。これまでの結果を報告いたします。

# 私ちひとこと 第18回

この「チーナーではみなさんからの「なまの声」を募集しています。お気軽にご投稿下さい。

小畠勇一郎顕彰会 会長

あさり つかさ もん（山田字向館）



一人間、小畠勇一郎

もう34年前も前のことである。

小畠勇一郎は、本県の知事として県政を担うこと6期、赤字再建団体県からの脱却、生涯学習の基礎を築くなど、その手腕は大きな事績となつて現在なお、語り継がれている。

口一番に「いい馬だすな」。毛並みのよくない瘦せ馬であつても、まず褒めるのである。おやつがわりに出されたガッコをガリッとかじるや「うん、よくできでるな」。この家の漬物を最大限に褒める。馬を褒めるは主人を褒めること。ガッコを褒めるは主婦を褒めることである。馬は貴重な家族の一員であり、ガッコはその家の味を語る文化でもある。居丈高にむしり取るのでなく、血の通つた親しみのある「取り立て屋」であった。もちろんずる賢い人には厳しく、毅然と対したことは言うまでもない。

夫人の好子は愛知生まれである。なれない雪道での転倒により脊髄損傷がもとで、長年の療養生活をしたことがある。一向に好転しない病状に絶望の末、睡眠薬でみずから命を絶とうとする大きな出来事である。北秋は他郡より滞納が多かつた。「いだすか」戸口をくぐつて開

ぶつたという。一生の中でただ一度だけ、生に執着する夫の『愛の平手打ち』であった。

小畠家には、こんなこともあった。千秋公園の桜が満開である。県庁から帰るや「好子、桜見に行こう」、病床で渋る夫人を無視して「俺が背負つて行ぐがら大丈夫」、兵児帯でいとも簡単に背負う。暮れなむ千秋の杜、おぼろ月夜に淡く光る花びら、そして行き交う喜々とした人々。「好子どうだ、きれいだべ」「うん」。あふれる涙で桜など見えるはずもない。酒宴の花見客の勢いに比べて背中の好子は真綿のようになつたに違いない。

24年間、知事の座を全うした小畠にはこんな日もあつたし、当然のこのようにこんなことができたのである。県民を大切にし、家族を愛し、全ての人たちの幸せを願う。小畠はこういう人であった。

## 編集後記

定例会と臨時会の本会議はどうなたでも傍聴できます。傍聴されるかたは、市役所東側（裁判所側）3階の議場入口で受付簿に住所・氏名等をご記入のうえ、係員の指示に従つて議場へお入りください。

43-7108（直通）

「慣れ」という言葉があります。自然に慣れ親しみ、生活習慣に熟することは日々過ごす中で必要なことです。しかし、慣れ過ぎると変化・変革に対応できず、右往左往することになります。変化する事態になつてもしっかりと行動できる力を普段から身につけていたいものです。地域改革・議会改革・行政改革・自己改革・抵抗覚悟で改革を実践したいものです。

（武田晋記）

市議会を傍聴してみませんか